- I 神が先行して下さった恵み
 - 1. 旧約時代=「御使いたちを通して語られたみことば」: 2
 - →律法のこと(使徒7:38、53、ガラテヤ3:19)。
 - ①神は、旧約の民に、神がどんな方か、神がどんな生き方を喜ばれるかを示される為に、律法(神のことば、命令)を与えられた。これは、人類の生き方の土台となり、生活を大いに助け、秩序を保つものだった。また、この律法は、不動の権威を持ち、聞く者に服従を求めた。
 - ※しかし誤解してはならないのは、律法の前に、エジプトからの救い、出エジプトの先行する恵みがあり、 その恵みへの応答として律法があった。
 - ②民の応答→違反と不従順による当然の処罰を受けた。: 2。 神の大きな恵みを踏みにじってしまった。この手紙を受け取るヘブル人の中にも試練に疲れ、主から離れ かけている人々がいた。何時の時代も霊的な戦いがある!この手紙は励ましの手紙。
 - 2. 新約時代=「こんなにすばらしい救い」:3。
 - ①「この救いは、初めに主によって語られ、それを聞いた人たちが確かなものとして私たちに示したものです」: 3。

御使いの仲介なしに、直接、神ご自身であるイエス様が、この世に降りて来られ、私達の罪の為に苦しみを受け、救いを完成し、この方ご自身が救いを語って下さった。

- ②それを聞いた人たちが、「確かなものとして」伝えた。
 - この救い、福音、イエス様が本物であり、確かであり、素晴らしかったので、使徒達も、ステパノも、パウロも迫害の死をも恐れずに伝えた。伝えずにはいられなかった。私たち日本人の救いのためにも主の尊い血が流された。また、その愛に応えた多くの殉教の血が流された。軽い救いではない。命を懸けるに足りる確かな救い。
- ③「そのうえ神も、しるしと不思議と様々な力あるわざにより、また、みこころにしたがって聖霊が分け与 えてくださる賜物によって、救いを証ししてくださいました」: 4。

今も、私達が、良く祈りつつ主を証しする時、神は、一緒になって働いて下さっている。

- まとめ→父(御父の大きな愛)・子(主イエス・キリストの恵み)・聖霊(御聖霊の親しい交わり)の三位一体の神と伝える人々による総動員の救い。
- Ⅱ 神が与えて下さった素晴らしい救いへの私たち人間の応答

A. 良くない応答

- 1. 本音では、「こんなすばらしい救い」と思えない時
 - =中途半端で、世、罪半分、神様半分のような生き方の時がある。その時、生き生きした御聖霊の力も消え失せ、世の罪の生活が羨ましくさえ感じる(それは、悪魔による錯覚にすぎないのだが)。
 - 一番、みじめなクリスチャンの姿。
 - ※私も44年の信仰生活の中で、そのような時があった。もし、今、あなたが、そうであるなら、主に正直に打ち明けよう。主は助けて下さる。
- 2.「すべての違反と不従順」: 2。
 - 次第に、いいかげんになり、御声を聞こうともしなくなる。次第に世に流される。霊的漂流。主から離れて行く。
 - ①むさぼり、欲張り。神が与えられている恵みを忘れ、感謝しない。
 - ②偶像礼拝。真の神以外のものを礼拝する。

- ③姦淫、不品行、淫らな行い。泥酔。
- ④主を信頼しない。自分の力で何とかしようとする。ますます疲れる。
- ⑤不平、つぶやき。それらに対して「当然の処罰を受けた」: 2。

神は、怒るのに遅く、憐み深いお方(詩篇103:8-9)。と同時に、あまりにも、ひどい罪を犯し続け悔い改めない者には、正しくさばく、聖なる義のお方。

※神に罪を正直に告白し、愛の赦しをいただき、罪から離れる力を下さいと祈ろう!

イエス様のこんなに素晴らしい救いをないがしろするなら当然のさばきがある。

そこにも神の愛がある。

クリスチャンへの神のさばきは、永遠の滅びではなく、自分の罪に気付かせ、神に立ち返らせるためである。

そこには神の愛がある。

神は、いつも私達の事を気にかけ、顧み、重んじて下さる。

私達の事を大切に愛して下さる神を侮ってはいけない。ガラテヤ6:7。

「霊の父は私たちの益のために、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして訓練される(罪に気付く為の懲らしめ)のです」へブル12:10。

困難には意味がある。すべてを神は支配しておられる。

「神は、これを通して私に何を教えようとされているのか」と考え、祈る人は幸い。

神は、御言葉と出来事を通して私達に語られる。素晴らしいお方!

B. 神の喜ばれる応答

- 1. 本音で、こんな罪深い私に、「こんなにすばらしい救い」をいただいた!と確信し、感謝する幸いな歩み。
 - ①自分の罪深さを自覚し、その為の主の十字架の驚く恵みを自覚し感謝し続ける。
 - ②罪の赦しへの感謝と同時に、悪魔と自分の罪の力に打ち勝つ御聖霊の力をいただき、罪の悪習から解放され、主の聖さと愛の姿に変えられ続ける恵みをいただき続ける。 I コリント3:18。

但し、完全な人はいないので、失敗した時は、神の前に正直に自分の罪を告白し赦しときよめをいただこう。 I ヨハネ1:9

- ③現実は、順調な時ばかりではないので、とてもつらい時にも、素晴らしい主が共におられる恵みを意識的に自覚する。ヘブル13:5
- ④先が見えない忍耐の時も、あせらず、あわてず、あきらめずに、神を信頼し神に祈り続ける。神は、神 の方法で応えてくださる。神の時に。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」伝道者の書3:11

- ⑤主の恵みを忘れず、数えて感謝する。もし、主に救われていなかったらと考えてみる。私は感謝に満ち あふれる。詩篇103:2
- ⑥神を中心にしたクリスチャンの交わり、祈り合い。神は互いに交わり、祈り合う教会を与えられた。
- ⑦静かに時間を確保し、三位一体の神ご自身のことを、神の御言葉をじっくり思い、神の臨在を喜び神と の交わりを楽しむ。宝の時間。

「私にとって神のみそばにいることが 幸せです」詩篇73:28。

神は、私達との深い交わりを最も喜ばれる。